



本ばこ

ほん

— 新刊教材・図書紹介 —

しん かん きょうざい と しょしょうかい

スピーチ・ディスカッションを通じて口頭表現能力を向上させる

『もっと 中級日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』

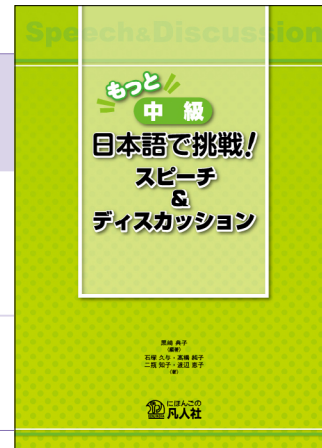
編者：黒崎典子

著者：黒崎典子、石塚久与、高橋純子、二瓶知子、渡辺恵子

出版社：凡人社 (http://www.bonjinsha.com/)

発行年月：2013年1月 ISBN：9784893588449

判型・頁数：B5判 103頁 定価：1,575円(税込み)



中級から上級にかけての学習者が話す力（プレゼンスキルや対話力）を伸ばすためには、どんな授業をしたらいいだろうか、と考えている先生方に、本書は役に立つかもしれません。

本書は、スピーチやディスカッションを通じて、クラス活動やペアワークを充実させ、「公の場でまとまった内容のことを話したり議論をしたりする」ことができるようになることをめざしています。学習対象者は、学習時間が600～750時間程度で、日本語能力試験N2合格レベルの学習者です。

▽本書の構成

本書は、6つの独立したユニットから構成されていますが、全体としてはスパイラル構造になっていて、順番に進めば、後続のユニットに無理なく接続できるようになっています。

UNIT 01	自己紹介 上手に自分をアピールしよう！
UNIT 02	インタビュー 目上の人にインタビューしてみよう！
UNIT 03	スピーチ (1) 1分間で内容豊かに話そう！
UNIT 04	スピーチ (2) 新聞を読んで自分の意見を述べよう！
UNIT 05	ディスカッション (1) 大学生の就職活動
UNIT 06	ディスカッション (2) ほめて育てる？しかって育てる？

ユニット全体の流れを見ると、自分を見つめ、聞き手にアピールすることからはじめ、インタビューで対話力をみがき、一分間スピーチですっきりわかりやすく話す練習を行います。そして、資料を用いて説得力ある意見を述べることに発展させ、さらにディスカッション（調べたことをまとめること・質疑応答をすること）やディベート（異なる意見を持つ相手との

議論）に挑んでいくという流れになっています。最後のユニットでは、特に、相手の話を正確に聞いたうえで話すということも目標になっています。

▽各ユニットの構成

はじめに、自己評価チェックリストを提示し、到達目標を掲げています。次に、アイデア・マップで話すことを整理し、話の流れと表現を学んで、練習します。そして、スピーチやディスカッションの準備（メモ作成、資料読解）を行った後に、発表します。

発表の後には、自己評価チェックリストを使用して自分の発表をふりかえります。さらに、「発展」において、次のユニットに関連した活動を行います。スピーチ・ディスカッションの例はユニット最後に載っています。

本書は『中級日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』の姉妹編です。考え方、ユニット構成などは共通していますが、こちらはN3合格レベル（学習時間450～600時間）の学習者が対象になっているので、教室にあわせて選ぶことができます。

The image shows two pages from the textbook. The left page (UNIT 03) is titled 'スピーチの前に' and includes a 'テーマを決めよう!' section with instructions on how to choose a topic and a diagram for '話し手' (speaker) and '聞き手' (listener). The right page (UNIT 03) shows a flowchart for 'スピーチの流れと表現を勉強しよう!' (Let's study the flow and expressions of a speech). The flowchart starts with '開いた手を閉じ込み、テーマを決めよう' (Close the open hand, decide on a theme), followed by '聞き手が知らないかもしれない言葉の説明をする' (Explain words the listener might not know), '真面目を入れてわかりやすく述べる' (Speak sincerely and clearly), '聞き手に問いかける' (Ask the listener questions), '議論が深くなる' (Discussion deepens), and finally 'スピーチを終える' (End the speech).